

Seminar Report 01

2020年10月29日(木) 開催場所:オンライン

ファシリテーション基礎セミナー vol.4

今回のテーマは「合意形成」。当法人事業統括ディレクター長浜洋二が講師を担当しました。ファシリテーターとして「対立は悪ではない」という前提を持ち、ワークショップや会議の場で、異なる意見をまとめてゴールに導く「合意形成」のスキルを学びました。中でも時間をかけて行ったグループワーク「国境を超える」では、2つのグループに分かれ、お互いの主張を一つずつ受け止めながら、主張や立場の背景にある願いや期待、不安や恐れなどを理解し合うことの重要性を学びました。

参加者から 寄せいただいた声

- 今の自分にとても必要な内容でした。もっと早く知っていたらという悔しさがあります。
- ファシリテーションについて、頭の中の整理ができました。
- 合意形成に向けたグループワーク「国境を超える」が面白かったです。仲間ともやってみようと思います。



講義の最後には、中央図書館の司書の方に登壇いただき、ファシリテーションの学びを更に深めるおすすめの関連書籍をご紹介いただきました。

Seminar Report 02

2020年10月31日(土) 開催場所:生涯学習センターホール

市民活動・ボランティアのための 人が集まる企画とチラシづくりの ポイント (町田市生涯学習センター共催)

全国的に人気を博すカリスマプランナーの坂田静香氏(NPO法人男女共同参画おおた理事長)を講師にお招きしたセミナーは、広い会場で万全の感染症予防対策を行って実施しました。

セミナーでは、10を超える実際のチラシを見ながら、企画内容やチラシ制作のOK・NGポイントを解説し、「心を動かす企画・

参加者から 寄せいただいた声

- 実際のチラシを見ながら講義が進められたので、良い点や改善点が具体的にわかりました。
- チラシ制作のおすすめフォントなど、完成度をぐっと上げる細やかな技を具体的に教えてもらい勉強になりました。
- 明日から使えるような内容ばかりでした。実践していきたいと思います。



町田市地域活動
サポートオフィス

info@machida-support.or.jp

公式SNS 更新中/
町田市地域活動サポートオフィス

検索



www.machida-support.or.jp

042-785-4871

受付時間 月曜日から金曜日 午前9時から午後6時
(毎月第三水曜日は午後5時まで)



町田市地域活動
サポートオフィス

まち“だ”づくりのコミュニケーション誌
サポートオフィス通信

vol.14

2020.12

TAKE FREE

今月のコンテンツ

今年も残すところ、あとわずかとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大により、町田市地域活動サポートオフィスでも今までとは異なる新たなアプローチで、NPO団体や市民活動団体のサポートをさせていただいた1年となりました。本号では、その中でも特筆すべき取り組みとなった第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」と「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」についてご紹介してまいります。



Now!

第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」10days、開催しました!

12月4日から10日間に渡りオンライン・市内分散というスタイルで開催された「まちカフェ!」10days。期間中、多くの団体がオンライン上でイベントを実施し、リアルイベントは、東京都が作成した新型コロナウイルス感染症の拡大防止チェックシートに則り、最大限の対策を講じた上で開催しました。開催に向けて、参加団体同士が協力し、オンライン会議や動画制作のスキルの修得、分散開催に向けた会場の開拓や新たなイベントの企画立案などに挑戦をされました。そのおかげもあり、団体の枠を超えた交流が生まれ、今までの団体活動では接点が持てなかった方々にイベントに参加いただくなどの成果が生まれた本年度の「まちカフェ!」。ここでの出会いや挑戦が、今後の活動を後押ししてくれるのではないかと感じることができた10日間でした。

次号では、
第14回「まちカフェ!」10daysを
大特集します。お楽しみに!



▼鎌倉古道・歴史遺産の会のイベント「町田の歴史遺産“鎌倉街道上ノ道”を歩こう!」でのひとコマ。町田の魅力を再発見する時間に。



▲「まちカフェ!」オンライン開会式の「緑のバトン」の様子。画面越しにシンボリックカラーの緑のバトンを受け渡しながら団体をPRした。



▲市庁舎1階みんなの広場で開催されたシンボリック事業「まちカフェ!の森」の展示風景。団体紹介のパネルと数千枚の葉で彩られた森に多くの人が足を止めた。

Thank you!

たくさんの出会いと挑戦の2020年。1年間ありがとうございました!

2020年もたくさんのご縁をありがとうございました。

本年は世界が新たな感染症と向き合った年。サポートオフィスは、町田市社会福祉協議会とタッグを組み初めてのクラウドファンディングに挑戦。多くの方に様々な形でご参加、ご支援をいただきました。改めて御礼申し上げます。その他にも新たな開催スタイルを模索した「まちカフェ!」など、関わってくださった方と真剣に対話ができた一年でした。この先も地域のことやそれを形づくる様々な活動について、ご縁をいただいた方々と一緒に迷い考えながら進んでいきたいと思います。引き続きよろしくお願いします。

町田市地域活動サポートオフィス 事務局長 喜田亮子



みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田の助成団体の詳細は、次のページでご紹介します。



Report | 「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」助成団体決定!

「コロナ禍で困りごとを抱えている方を支援する市民活動を応援したい!」という想いから始まった

「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」は、

町田市社会福祉協議会と町田市地域活動サポートオフィス共催で実行委員会を立ち上げ、

クラウドファンディングに寄せられた市民の貴重な支援により設置されました。

ここでは、助成団体決定の詳細をご紹介します。

助成団体が12団体に決定

みなさんから寄せいただいた支援金の助成公募には19件の応募があり、審査委員会での選考を経て12件の助成先が決定しました。審査委員会では、市民からの貴重な支援であることを前提に「新型コロナウイルス感染拡大に伴い影響を受けている人へ支援を届ける」という趣旨との合致度を特に重視して助成先の選考が行われました。

審査委員からは、「採択された団体は、対象者への支援を重視して活動を展開すると共に、市民からの寄付で行われている助成金であるということを踏まえ、活動の経過等についての情報発信を期待したい」という声があがりました。

今後、実行委員会では、助成を受けた団体からの実施報告書の提出を受け、市民のみなさんに向けて報告会を実施していく予定です。

審査委員会

委員長：樋口明彦氏（法政大学社会学部教授）

委員：井上宮子氏（玉川学園地区社会福祉協議会会長）

委員：大貫一夫氏（町田市地域活動サポートオフィス理事）

委員：鈴木悟氏（町田商工会議所事務局長）

委員：町野真里子氏（町田市民生委員児童委員協議会会長）

データで見る

「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」

- クラウドファンディング実施期間：8月3日（月）～9月16日（水）
- 助成公募期間：9月1日（火）～10月2日（金）

支援者数

154名



支援金総額

1,130,000円



助成金総額

881,400円



応募総数

19件

助成団体数

12件

※支援金総額からクラウドファンディング事業者への手数料を差し引いた額。事務局必要経費については一切差し引いていません。

助成対象一覧

団体名	代表者名	助成額	助成対象事業
ごはんと元気！プロジェクト	清原理	100,000円	ごはんと元気！プロジェクト・生活困窮者支援
たまぼら・ゆくのきプロジェクト	津田真佑	99,770円	町田市相原町を中心としたこどもたちと地域の人をつなげる放課後支援の居場所づくり事業
Dフレンズまちだ オンラインソーター実行委員会	清水静香	100,000円	地域のシニアのオンライン認知症カフェ参加補助及び情報格差を解消するためのオンラインソーター事業
今年も相原を盛り上げるぞ プロジェクト2020	二神友造	99,770円	コロナ禍における、多世代間交流・体験型交流などの地域活性化事業
探求フリースクール・マチラボ	広田悠大	97,000円	不登校に関するオンラインサロン事業及び不登校経験者によるサンプリング事業
町田市多胎児の会ひよこまめ	丹羽麻由美	22,000円	妊娠期から育児期まで～多胎児の親へのオンラインピアサポート事業
でんでん虫の家・町田	今村路加	15,960円	コロナ禍における非接触型の発達相談支援事業
ワン&オンリーいのちの会東京・町田	矢野秀代	30,000円	新型コロナ禍の影響によって経済的に困窮し、妊娠で悩んでいる人の相談事業
生活困窮者支援 りばん	田中のり子	41,000円	新型コロナウイルスの影響により、収入や住まいを失った人、心身の健康が損なわれている状態にある人への生活相談事業
つるかわ無料塾 結い	福田有美子	82,900円	新型コロナウイルスの影響によりオンライン学習を開始した結いの子どもたちと一緒に考える「結いのネットリテラシー講座vol.1」
特定非営利活動法人 日本ペルーコンサルタント	パラシオス パウロ・ブスキー アルベルト	100,000円	外国にルーツを持つ子どもへのオンライン支援事業
NPO法人ゆどうふ	辻岡秀夫	93,000円	生きづらさを抱える若者がコロナ禍でも安心して通えるフリースペースの整備事業

Message 助成団体から助成決定を受けた想いや展望をお話しいただきました

ごはんと元気！プロジェクト

代表者名 清原理氏

助成対象事業 ごはんと元気！プロジェクト・
生活困窮者支援

助成ありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、この時期に生活困窮者の方が更に増加しています。このままだと年越しが大変な状況となりそうです。年末にお弁当の配布か食堂を開催したいと思い、現在準備を進めています。

Dフレンズまちだオンラインソーター実行委員会

代表者名 清水静香氏

助成対象事業 地域のシニアのオンライン認知症カフェ参加補助及び
情報格差を解消するためのオンラインソーター事業

この度は助成対象として採択頂き、ありがとうございました。この活動が自分満足ではないのか、と不安に思う日々でしたが、審査委員の方に共感していただき、背中を押してもらえた気分です！市民のみなさんの貴重なお気持ちが繋がり、拡がるよう活用していきます。

町田市多胎児の会ひよこまめ

代表者名 丹羽麻由美氏

助成対象事業 妊娠期から育児期まで～多胎児の親への
オンラインピアサポート

コロナ禍で多胎児の親子向けの会を開催できず、オンラインでの「おしゃべり会」を始めたところ、とても好評でした。今回助成いただけることになり、オンラインで多胎児の悩みや喜びを共有し、「孤育て」にならない場づくりを継続していきたいと思います。

つるかわ無料塾 結い

代表者名 福田有美子氏

助成対象事業 新型コロナウイルスの影響によりオンライン学習を開始した
結いの子どもたちと一緒に考える「結いのネットリテラシー講座vol.1」

コロナ禍の4月、「子どもたちの学びの場の継続を」と急ごしらえでオンライン学習支援を始めました。けれど「子どもも大人もネットリテラシーは大丈夫か」という不安も。今回開催した講座では、活発な議論ができ、子どもから大人が教えてもらう場面もありました。

